



土器川における 大規模水災害に適応した対策検討

本検討の概要

- 近年、地球温暖化などの気候変動により豪雨等の発生頻度が高くなっている傾向にあります。これにより、計画規模を上回る洪水(超過洪水)が発生する恐れが高まっています。
- 本検討は、「香川地域継続検討協議会」(会長：香川大学危機管理研究センター長)と連携し、土器川で大規模河川氾濫が発生した際の被害想定や対策等及び「水災害に適応した強靱な社会」作りの方向性についてとりまとめるとともに、香川県内における「水災害に適応した強靱な社会」作りの方向性のとりまとめに資するものです。
- そのため、土器川氾濫地域の関係機関がメンバーとなり、「大規模水災害に適応した対策検討会」を設置するとともに、意見集約の場として土器川氾濫地域の住民が集まり、意見交換するワークショップを開催します。

● 香川地域継続検討協議会（既存会議）

- ・メンバー 国地方支分部局、香川県、高松市、坂出市、経済団体、香川大学、インフラ各社等
- ・設立 平成24年5月31日

↑ 「とりまとめ書(案)」の提出

● 大規模水害に適応した対策検討会

- ・メンバー 香川大学危機管理研究センター、香川県中讃土木事務所、丸亀市、まんのう町、坂出市、普通寺市、宇多津町、琴平町、香川県防災士会、四国地方整備局香川河川国道事務所

↑ 意見集約

★ 大規模水害対策ワークショップ (WS)

- ・メンバー 土器川氾濫地域住民、香川大学危機管理研究センター、香川県中讃土木事務所、丸亀市、まんのう町、坂出市、普通寺市、宇多津町、琴平町、香川県防災士会、四国地方整備局香川河川国道事務所

~~~~ 大規模水害対策ワークショップの流れ ~~~~

|                  | 情報の共有                                                       | 意見出しのテーマ                                                         |
|------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 7/28実施<br>第1回 WS | 被害想定（堤防決壊を想定）<br>被害の内容（どこで何が起こるか）                           | いろいろな立場から被害の内容に応じて、 <b>困ることを抽出</b>                               |
| 第2回 WS           | 一般的な大規模災害が発生した際に行われる活動の内容                                   | <b>困ることの掘り下げ</b> （左記の活動で困ることに対応できるのか）<br>地域の生き残りの <b>アイデアを抽出</b> |
| 第3回 WS           | 土器川の大規模水害に対する地域機能継続案（適応策案）を作成・提示<br>適応策の効果分析結果（対策前と対策後の比較図） | <b>アイデアの掘り下げ</b> （“水害に強いまち”に成り得るのか）<br>事前～応急～復旧復興対策              |

## ワークショップの概要

### ◆ワークショップの位置付け

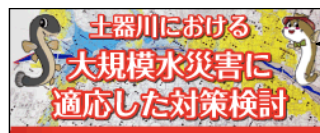
- 大規模水害発生後の“地域の生き残り計画”について、“住民目線”で議論する先進的な取り組みです。
- 大規模水害に着眼し、“上下流の地域が一体”となって広域的に議論する“全国でも初めて”の取り組みです（ワークショップは**全3回開催**します）。

### ◆ワークショップのねらい

- 土器川流域において、“水害に強いまちづくり”を目指した流域・地域で一体となった大規模水害対策を推進していきます。

## ワークショップ等に関する詳しい情報はこちら・・・

本検討の運営要領や規約、検討の詳しい内容、今後のワークショップの開催案内や開催報告などの情報は、以下のアドレスから閲覧することができます。



香川河川国道事務所ホームページから、左のバナーをクリックしても閲覧できます。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/river/daikibosuigai/index.html>

「大規模水災害に適応した対策検討」, 「大規模水害対策ワークショップ」に関するお問い合わせは・・・



国土交通省四国地方整備局  
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒760-8546 高松市福岡町4-26-32  
TEL : 087-821-1623 (計画課直通) FAX : 087-821-1713



# 「第1回大規模水害対策ワークショップ」を開催しました

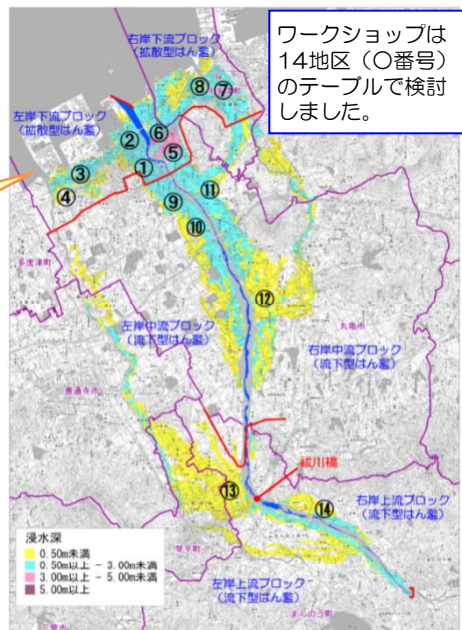
- 平成25年7月28日（日）に地域住民等約120名が集まり、「第1回大規模水害対策ワークショップ」を丸亀市民会館（中ホール）にて開催しました。
- ワークショップ参加者の皆様により、土器川における大規模な水害が発生したときの被害想定に基づき、多くの意見について議論いただきました。
- 第1回ワークショップ開催の様子や検討内容等について、ご報告します。



## 第1回ワークショップの内容

### ◆第1回ワークショップ検討のテーマ

- 計画を超過する大規模な洪水発生により、**土器川の堤防が決壊し大規模な浸水被害が発生**した状況を想定しました。
- 大規模水害時に**“いろいろな立場で困ることは何か？”**を議論しました。



ワークショップは14地区（○番号）のテーブルで検討しました。

14地区に分かれて検討しました

### 【検討その①：図面で検討しました】

- ◆ 土器川氾濫域の14地区に分かれて、検討しました。
- ◆ 土器川における超過洪水時の最大浸水深図を使用し、想定される被害として**“どこで、何が起こるか”**を図面に記入して検討しました。



想定される被害を図面に記入しました

超過洪水時の浸水想定区域図  
超過洪水規模：1/100計画降雨×1.2倍

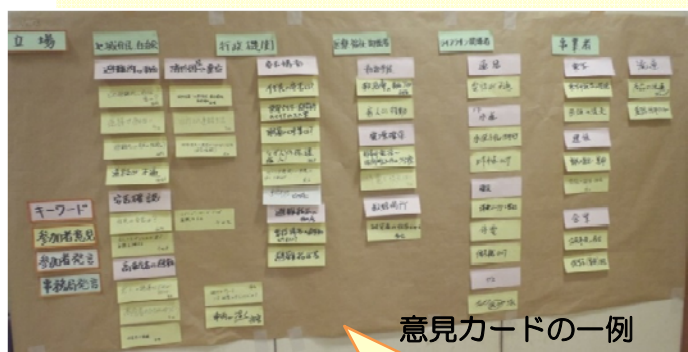
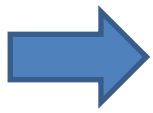
### 【検討その②：意見カードで検討しました】

- ◆ 広範囲に及び甚大な被害が発生している状況において、**“いろいろな立場で、大規模水害で困ること、その理由”**を意見カードに記入して検討しました。

- <いろいろな立場とは……>
- ①地域住民・自治会、②行政機関、③医療・福祉関係者、④ライフライン関係者、⑤事業者



各立場における困ることを意見カードに記入、キーワード毎に整理しました



意見カードの一例

大規模水害時に困ることを意見カードに記入しました

### ◆第1回ワークショップ検討を実施して……

- ◆各地域（テーブル）によって、広域的かつ様々な視点での議論がされました。
  - <例えば>
    - ・自治会の視点での生活に近い問題を議論されました。
    - ・被害規模の想定において実際に経験している被害規模から議論されました。
    - ・工場等の企業が多いなど地域特性が違う観点から議論されました。
- ◆大規模な水害発生時に“いろいろな立場で困ること”について、数多くの意見が出されました。
  - <例えば>
    - ・地域住民・自治会：道路が途絶して帰れない、食料が不足、避難所へ行けない、etc
    - ・行政機関：人員が不足、物資が届かない、被害状況把握が困難、etc
    - ・事業者：従業員が帰宅できない、商品が水没、早期に営業できない、etc